

熊本県

団体部門

ベースじぎょうきょうどうくみあい
やまがBASE事業協同組合

移住者と地域が伴に創る新しい地方の形



(屋内養蚕やワイナリー、温泉での業務、農業など時期に応じて様々な業務に従事し、域内事業者の人材不足解消に寄与)



(組合員のやまがBASE(株)が運営するYAMAGA BASEは組合の本店として利用し、組合から派遣するマルチワーカーが中心となり運営)

取組概要

- 地域の事業者で協議し、人材不足の解消と地方における若者の雇用の受け皿として2022年に特定地域づくり事業協同組合を設立。
- 事業者における季節性による繁閑の差を解消する他、若者の新しい視点や知見、ネットワークを各組合員事業所に持ち込むことで業務改善も図られる。

活動成果

- 2023年6月以降、約1年半で多様なバックグラウンドを持つUIターン移住の20代、30代の若者5名をマルチワーカーとして雇用。
- 人材の派遣ニーズは強く、2025年1月現在の組合員は12事業者に増加。
- 組合員のやまがBASE(株)が運営する複合施設YAMAGA BASEは、マルチワーカーが中心となり運営しており、イノベーションコミュニティや地域に根差したイベントの企画など幅広く実施。

団体部門

かぶしきがいしゃ

しんじょう

株式会社 もやいネット真城

地域の農地は 地域みんなで守ろう



(水田オーナーによる田植え、稲刈り)



(冬季湛水の取組)

取組概要

- 離農により非農家が所有する遊休農地を集積するため法人を設立。
- 地下水涵養のための冬季湛水にH25年から取組む。
- 水田オーナー制度や、地元小学校と連携した田植え、稲刈り授業を実施。

活動成果

- 荒廃農地の減少には地域景観の改善につながり地域でも高評価。
- 半導体企業の県内立地であらためて重視される地下水の保全・確保に向けて地下水涵養事業面積を13haまで拡大。
- 農産物販売実績もR6年順調に増加を見込む。

団体部門

の お か つ
N O K a T s

リボンフラワーでつなぐ 咲き誇る未来！



（地元、老人クラブの皆さんと一緒に
野の花積み）



（人気商品、色鮮やかなボトルフラワー）

取組概要

- 地域活性化を目指し農業者以外も含む若手有志で組織を結成。現在は女性3名が共同代表となりドライフラワー事業に取り組む。
- 地域の高冷な気候を活かして栽培された花きは鮮やかな色合いで市場評価が高く、規格外品等をワークショップに活用。
- 地元の子供達も自主的に参加。

活動成果

- 高齢者による花きの摘取り作業、自立支援施設との連携など、多様な地域住民の社会参画に寄与。
- コロナ禍においてはオンラインツアーを開催。現在は県内外やインバウンドにも対応したワークショップ等に進化。
- クラウドファンディングの資金で活動拠点となるNOKaTs Baseをオープン。

団体部門

そよのうじょう
蘇陽農場

有機農業全国No.1山都町の鶏卵生産



(天然素材にこだわった飼料で育てた自慢の鶏卵。くまモンお勧めの一品です)



(若い移住者に賑わう山都町の有機農業の取組。甘くておいしい野菜をお届けします)

取組概要

- 有機JAS認証全国一の町で、豊富な地下水と地元飼料米を使い鶏卵を生産。
- 安全・安心にこだわった鶏卵は栄養価も高く高級スイーツから産婦人科医院や社会福祉施設の食事向けに高い評価。
- 未経験若者の雇用や、女性登用、障がい者雇用等、多様な人材が適正に応じて助けあえる現場運営を実現。

活動成果

- 放置竹材活用した新規開発鶏糞たい肥は地域有機農業における土づくりに活用され、山都町が進めるみどり戦略・オーガニック宣言の下で、地域での資源循環に寄与。
- 鶏卵売上高はコロナ禍にあっても順調に増加。地域の有機農業面積も若いIターン農業者の取組により同様増加しており、事業・地域ともに好循環の発展につながっている。